

# 太田善之 教授

## 略歴と業績

### 略歴

太田 善之(おおた よしゆき)

### 学歴

- |              |    |                                |
|--------------|----|--------------------------------|
| 1977年(昭和52年) | 3月 | 名古屋市立菊里高等学校卒業                  |
| 1981年(昭和56年) | 3月 | 名古屋大学経済学部経営学科卒業                |
| 1983年(昭和58年) | 3月 | 名古屋大学大学院経済学研究科博士課程(前期課程)修了     |
| 1986年(昭和61年) | 3月 | 名古屋大学大学院経済学研究科博士課程(後期課程)単位取得退学 |

### 職歴

- |              |    |             |
|--------------|----|-------------|
| 1986年(昭和61年) | 4月 | 名古屋大学助手経済学部 |
| 1987年(昭和62年) | 5月 | 新潟大学講師経済学部  |
| 1990年(平成2年)  | 4月 | 滋賀大学助教授経済学部 |
| 2001年(平成13年) | 4月 | 滋賀大学教授経済学部  |

### 学会及び社会における活動等

- 日本会計研究学会／日本経営学会／  
アメリカ会計学会(American Accounting Association)  
公認会計士試験委員(財務会計論)(2010年12月-2013年11月)

### 主な委員等

- 経済学部副学部長(入試広報担当)(2007年4月-2008年3月)  
経済学部副学部長(学務学生生活担当)(2014年4月-2016年3月)  
評議員(2016年4月-2022年3月)  
経済経営研究所所長(2021年4月-2022年3月)  
副学長(入試担当)(2022年4月-2024年3月)



---

## 業績

---

### 著書(分担執筆)

「収益会計」(井上良二編著/『財務会計の進展』/第2編第5章/税務経理協会/1999年)

「物価変動会計情報の信頼性」(可児島俊雄先生還暦記念論文集編集委員会編/  
『会計情報の監査—会計情報の信頼性と外部監査—』/第1部第7章/中央経済社/1990年)

「実体維持思考の測定論理」(齊藤隆夫編著/『企業会計論』/第8章/名古屋大学出版会/1988年)

---

### 主な論文(単著)

「研究開発費の会計に関する一考察」(『龍谷大学経営学論集』第45巻第3号/108-125/2005年)

「現金および資本についての管見」(『会計』第161巻/40-55/2002年)

「『動的貸借対照表論』における貨幣および資本の解釈について」  
(『彦根論叢』第323号/117-139/2000年)

「シュマーレンバッハ動態論の再検討—その生成と本質に関する一考察—」  
(『滋賀大学経済学部研究年報』第5巻/129-154/1998年)

「会計における『相殺』思考—中和化との関連において—」  
(『会計』, 第152巻第1号/51-66/1997年)

「土地開発公社における会計(1)~(3)—滋賀県内の事例を参考にして—」  
(『彦根論叢』第303号/29-49/1996年、『滋賀大学経済学部研究年報』第3巻/123-148/1996年、  
『彦根論叢』第304号/59-80/1996年)

「会計学説史研究に関する一考察—静態論および動態論の意義と、  
それらの史的展開についての考察を中心として—」  
(『滋賀大学経済学部研究年報』第2巻/79-102/1995年)

「会計学における『経済(学)的思考』」(『彦根論叢』第279・280号/349-372/1992年)

「長期請負契約の意義とその収益認識基準」(『彦根論叢』第276・277号/245-268/1992年)

「正規の簿記の諸原則と実現原則について」(『彦根論叢』第269号/107-129/1991年)

「期間損益計算における収益・費用対応についての一考察」  
(『会計』第136巻第6号/111-124/1989年)

「繰延資産および引当金に関する一考察」  
(『経済科学』(名古屋大学)第35巻第1号/25-67/1987年)

「債務者利得と他人資本金融—純額実体維持概念の考え方を中心として—」  
『経済科学』(名古屋大学)第34巻第3号/37-64/1987年)